

# 要 望 書

千葉県町村議会議長会

## 総合企画部

### 1 JR成田線の複線化促進について

(香取郡市町議会議長会)

鉄道などの交通網の整備は、豊かな生活の実現と国土の均衡ある発展にとって基本的かつ重要な事業であり、その整備は、地方都市にとって地域住民の最も熱望するところである。

JR成田線の複線化は、香取地域の発展に大きく寄与するものであることから早期着工を要望する。

### 2 いすみ鉄道再生に向けた更なる施策支援について

(夷隅郡町村議会議長会)

千葉県において「観光立県ちば」を目指す中、いすみ鉄道は小湊鉄道と共に房総を横断する鉄道としての役割は大きく、沿線の貴重な原風景や自然、歴史・文化等豊かな観光資源に恵まれており、併せて沿線住民の重要な公共交通機関となっている。特に春の菜の花シーズンには、家族連れや旅行会社によるツアーで鉄道利用者も多く、千葉県の花である菜の花が、いすみ鉄道の代名詞となって来ている。

又、国の地域公共交通活性化・再生総合事業への取り組みも2年目を迎え、再生に向けての地域との連携を図っているところである。

については、県の観光産業発展と共に、当地域の子供達や益々増加する高齢者の生活基盤であるいすみ鉄道の存続のため、今後とも継続的な施策支援等を要望する。

## 健康福祉部

### 1 子ども医療の診療体制について

(長生郡町村議会議長会)

千葉県では、小学校3年生まで医療費の助成を平成22年12月から拡大する方向であるが、今後、更に段階的に中学生までの医療費の助成を考えている中で、長生管内では、既に小学校6年生や中学校3年生までの助成を実施している町村もある。医療助成の拡大に伴い長生管内では小児科医の不足、また、夜間緊急診療等の負担が増大する恐れのあることから夜間の受診対応が難しい状況である。非常に良い政策でありながら他地区では夜間緊急医療等の受け入れ態勢が出来るにも拘らず、当地区では夜間診療の体制は厳しい状況である。県の政策による助成事業であり、また、次世代支援及び少子化対策の一環としての県の事業として考えるのであれば、県内で受診に格差が生じていることは望ましくない事である。

よって県下統一した夜間受診の公平性が取れるよう、財政状況の厳しい状況であるが、医師不足の解消・診療体制の整備等の特段のご配慮を要望する。

## 環境生活部

### 1 県主体の有害鳥獣駆除の再開について

(長生郡町村議会議長会)

近年、イノシシ、鹿などの有害鳥獣が年々増え続けている。特に、イノシシのもたらす被害は甚大で農作物はもとより人への被害も報告されている。

このようなことから、町では捕獲檻の設置や地元猟友会へ依頼し、銃による駆除を行っている。しかしながら、繁殖能力は旺盛で年間数十頭捕獲してもそれ以上増加している。

被害は、ほぼ町内全域におよび、捕獲実績が特に多い地域は郡境である市原市、大多喜町境で、この地域に多く生息していると予想されるが、行政区域が分かれていることから、銃による捕獲駆除が行えない状況である。

市町村の行政区域に影響を受けることのない県主体の有害鳥獣駆除が、最も効果的な方法であると思われる。

については、県主体の有害鳥獣駆除を再開するよう要望する。

## 県土整備部

### 1 東関東自動車道（仮称）酒々井インターチェンジ周辺地域における道路ネットワーク形成と周辺国県道の整備促進について

（印旛郡町村議会議長会）

現在、（仮称）酒々井インターチェンジの開設に向けて、事業が進められているが、周辺の県道は、インターアクセス道路として、また、近隣市町村を結ぶ重要な路線であることから、更なる交通量の増加が見込まれる。

については、成田国際空港南部周辺地域における住民の道路交通の利便性向上と国際空港機能を活かした地域産業の発展及び地域経済の活性化に寄与する下記事項の早期実施を要望する。

#### 記

- （1） （仮称）酒々井インターチェンジ周辺地域における道路ネットワークの早期の計画立案と整備の実施
- （2） 主要地方道富里酒々井線、主要地方道成東酒々井線及び一般県道宗吾酒々井線の拡幅、歩道整備等の促進

### 2 主要地方道成田安食線（県道18号）沿線の適正管理について

（印旛郡町村議会議長会）

主要地方道成田安食線バイパス（県道18号）については、成田国際空港への主要アクセス路線として重要な役割を担っている。また、本路線（栄町）には、千葉県における観光振興の基幹施設である「千葉県立房総のむら」が整備され、多くの来館者を迎え入れている。

そこで、本路線の適正管理は、成田国際空港利用者及び「観光立県ちば」実現の一翼を担う房総のむら来館者に対する本地域におけるイメージの向上を図るために大変重要であることから、雑草繁茂期における適正な管理を要望する。

### 3 主要地方道鎌ヶ谷本埜線バイパスの早期完成及び若草大橋延伸線の早期位置付け並びに事業化について

(印旛郡町村議会議長会)

現在、印西市（旧印旛村・旧本埜村）及び栄町地先において整備が進められている、主要地方道鎌ヶ谷本埜線バイパスについては、業務核都市である成田地域と千葉ニュータウン地域の重要な路線として、千葉県において平成7年度より事業着手されている。しかし、千葉県においては、北千葉道路の整備を最優先とし事業が進められており、主要地方道鎌ヶ谷本埜線バイパス事業の平成20年度末における全体事業費ベースでの整備率については、49.1%の進捗にとどまり、計画年次における完成が難しい状況にあると料する。

そこで、周辺地域の経済発展、地域振興に大きく寄与する当該路線の強力な推進、また、当該路線上の豊年橋架橋については、昭和30年の築造から既に50年以上が経過し老朽化が顕著であることから、豊年橋新架橋について、先行して整備されたく要望する。

また、茨城県から利根川を渡河する若草大橋架橋が平成18年4月に開通しているが、国道356号バイパスが終点であり、それ以南の延伸計画の目的が立っていない状況である。

国道356号バイパス及び茨城県側からの交通量を勘案すると、若草大橋架橋の延伸線を主要地方道鎌ヶ谷本埜線バイパスへ、更には北千葉道路へと接続することにより、周辺地域における広域幹線道路網の南北軸が強化されることになる。

については、千葉ニュータウンの整備促進及び成田国際空港の完全化に向けた周辺地域の基盤整備と活性化にとって、この2路線の整備は必要不可欠であるとともに、広域的な交通網を確立し均衡ある県土発展と周辺資源の一層の活用を図るためにも、主要地方道鎌ヶ谷本埜線バイパスの早期完成と若草大橋の延伸線ルート of 早期事業化を要望する。

### 4 広域的幹線道路網の整備について

(香取郡市町議会議長会提出)

北総東部地域における広域的幹線道路網の整備について、下記のとおり要望する。

## 記

- (1) 干潟工業団地以東、銚子方面への基幹道路として、また、産業経済の発展等地域活性化のため、主要地方道多古笹本線バイパスの早期完成
- (2) 東総有料道路終点から香取市の南部（旧山田町中央部）を縦断して一般県道小見川海上線に至る路線は、現在市道であるが広域的な道路網の整備という観点から同路線の県道認定及び早期整備

### 5 国道356号の拡幅改良工事及び主要地方道成田小見川鹿島港線の整備促進について

(香取郡市町議会議長会)

千葉県北総地域においては、道路等交通網の整備が遅れ、発展する千葉県の中であって、人口の減少など過疎の傾向がみられる。

過疎傾向からの脱却を図り県内の均衡ある発展と北総地域の活性化には、国道356号及び主要地方道成田小見川鹿島港線は欠かせない重要な道路である。

国道356号の拡幅改良については、千葉県が鋭意努力されているところであるが、香取市東部の拡幅改良を早急に進められるよう要望する。

併せて、主要地方道成田小見川鹿島港線は、成田国際空港と鹿島港を結ぶ重要な道路であり、成田国際空港の平行滑走路共用開始後、交通量も増大し、朝夕には渋滞を引き起こしている現状にあるので、更なる整備促進を要望する。

### 6 首都圏中央連絡自動車道の事業促進について

(香取郡市町議会議長会)

首都圏中央連絡自動車道は、千葉県のほぼ中央を南北に通り、成田国際空港・幕張新都心・かずさアカデミアパークを基軸とした、各種プロジェクトの波及効果に欠くことのできない広域的ネットワーク道路である。

この首都圏中央連絡自動車道の整備により、北総地域や成田国際空港周辺地域では、アクセス機能が向上し国際物流機能の集積や先端技術産業を中心とした臨空工業団地等の整備計画が進展し、もって地域活性化の原動力となることから次の2点を要望する。

## 記

- (1) 茨城県境（神崎町）から（仮称）大栄ジャンクション（旧大栄町）までの10.7km区間の早期の完成
- (2) （仮称）大栄ジャンクションから県道成田松尾線（横芝光町・旧松尾町）までの18km区間の早期事業化

### 7 首都圏中央連絡自動車道 スマートインターチェンジの設置について

（山武郡市議会議長会）

首都圏中央連絡自動車道は、「ちば新時代」をつくる基盤整備としてさまざまな重要な役割を果たすものであり、東京湾アクアラインとのつながり、快適な観光やレジャーはもちろん、スムーズな物流を実現し、県内のあらゆる産業への波及効果が期待できるものと考えられる。

大網白里町では、地域の活性化や周辺道路の交通円滑化、並びに緊急時における医療施設への搬送など、住民の利便性を図る観点から主要地方道千葉大網線への追加インターチェンジの設置を要望してきたが、現状では設置が困難な状況であり、実現のためにスマートインターチェンジの導入が必要不可欠である。

また、首都圏中央連絡自動車道の整備については、慢性的な交通渋滞の緩和はもとより、産業や観光の振興への好影響など、その果たすべき役割は大きく、その整備効果を地域が受けとめることができる本町へのスマートインターチェンジの設置は、まちづくりの戦略上においても大変に重要な施策である。

さらに、主要地方道千葉大網線への接続により、本町をはじめ隣接する千葉市住民の利用はもとより、JR大網駅を拠点とした山武・長生地域の交通圏を考えた地域活性化は、地元の期待の大きいところである。

については、本町へのスマートインターチェンジの設置に向けた特段の配慮を要望する。

### 8 （仮称）主要地方道飯岡一宮線バイパスの建設促進について

（山武郡市議会議長会）

主要地方道飯岡一宮線は、千葉県が提唱するところの「観光立県千葉」推



進の一翼を担う道路として、九十九里沿岸の産業はもとより、千葉県東部地域の観光レクリエーションと、成田方面への交通アクセスの向上に大きく寄与する重要な路線である。

特に片貝地区の作田川に架かる（仮称）新九十九里大橋を始め、小松浜地区の木戸川に架かる橋梁整備および屋形地区の道路整備により、路線に連続性を持たせることが早期に効果を発現するうえで重要と考えられる。

については、千葉県の財政が厳しい状況であることは理解するが、主要地方道飯岡一宮線バイパス全線の早期完成について、ここに強く要望する。

## 9 救急車両の有料道路の通行料無料化について

（山武郡市議会議長会）

山武地域（横芝光町を除く。）の救急業務については、山武郡市広域行政組合消防本部において、住民の安全・安心を守るため、現在8台の救急車で実施されている。

平成21年の救急出場件数は、8,236件ののぼり、7,396人を搬送している。

しかし、山武地域においては、管轄内の病院の受入態勢が悪化し、管轄外の病院へ搬送することとなり、その患者数は全体の40%にも及ぶ。

このような中、全ての救急車が管轄外に出てしまい管轄内に救急車が1台もないことが10回程あった。

消防本部では、管轄外の病院へ搬送する場合、往路はもちろんのこと帰路についても次の出動要請に対応できるよう有料道路を利用している。

ただし、往路は緊急車両扱いとなり無料で走行できるが、帰路は一般走行扱いとなるため有料（管轄内は無料）となる。

については、緊急走行時以外の通行料についても無料化となるよう要望する。

## 10 栗山川改修の促進について

（山武郡市議会議長会）

二級河川栗山川は、近年の流域開発等により周辺地域の保水機能が低下したことや川幅の狭い区間があることから、度々住宅地の浸水や道路の冠水等の被害を受けている。

平成3年度から住宅市街地盤整備事業の導入により、築堤の整備も今年度で概ね終了するため、今後は旧堤の掘削工事等更なる事業促進を要望する。

また、上流部の未改修区間は土砂の堆積が著しく、平常水位が上昇するなど排水被害を受けている。県では毎年河床浚渫を行っているが、小規模で部分的な対応であるためほとんど改善されていない。したがって、特に堆積の著しい箇所は災害防止対策として、河床浚渫予算の増額を要望する。

## 11 主要地方道茂原長生線の歩道整備について

(長生郡町村議会議長会)

主要地方道茂原長生線は、計画的な歩道整備が進められているところであるが、本路線は朝夕の通勤通学時間帯の交通量が多く、急カーブや幅員狭小箇所では事故が頻発しているため、地元住民からも事故回避のために一日も早い交通安全対策を強く求められている。

については、事故が頻発している高崎地先には、小学校や保育所もあるため、児童生徒の安全を第一に考えた交通安全対策として、歩道の整備を早期に実施するよう要望する。

## 12 一般県道日吉誉田停車場線（一部長柄大多喜線）の道路整備について

(長生郡町村議会議長会)

上記の県道は、現在事業が推進されている首都圏中央連絡自動車道の茂原長南インターと茂原北インター間に沿って長南町、長柄町、茂原市を通過し、国道409号、主要地方道市原茂原線、主要地方道千葉茂原線、主要地方道五井本納線を結ぶ主要な路線であり、将来、圏央道の側道的役割を担う県道である。

茂原長南インターから国道409号へのアクセスは現在工事中であるが、これを受け北上する長柄大多喜線及び日吉誉田停車場線については、長柄町桜谷・国府里地先等一部では整備に着手しているが、全線にわたっては、いまだ未改良となっており、近年千葉外房有料道路等周辺道路網の整備に伴う観光目的の車両や物流関連の大型車両の交通量が著しく増加しており非常に危険な状況にある。

については、本路線全線の事業促進と、早期完成を強く要望する。

### 13 主要地方道茂原白子線バイパスの建設促進について

(長生郡町村議会議長会)

主要地方道茂原白子線は、茂原市本納地先から白子町海岸部までを接続する郡内有数の東西道路軸と位置付けられており、特に夏季を中心とした観光シーズンにおいては、首都圏からの来遊者の車両が非常に多く、しばしば交通渋滞や交通事故を引き起こしている。

しかしながら本路線は、既に住宅街を形成しているため、線形改善や幅員拡張は極めて困難な状況にある。

については、茂原市と白子町の東西道路軸の強化、房総リゾート地域整備構想及び長生山武地方拠点都市地域の支援、更には首都圏中央連絡自動車道との連携を促進するため、茂原・白子バイパスの早期建設を要望する。

### 14 地域高規格道路・茂原一宮道路（長生グリーン・ライン）の早期事業化について

(長生郡町村議会議長会)

外房地域のほぼ中央に位置している長生地域は、房総丘陵と九十九里海岸の恵まれた自然のもと、農林水産業や内陸型工業、観光産業などの盛んな地域である。

地域高規格道路・茂原一宮道路（長生グリーンライン）を、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）や東京湾横断道路と一体的に整備を行い、広域的な道路交通ネットワークの形成を図ることは、長生地域の発展と災害時における緊急対応道路として必要不可欠である。

当該道路のうち、茂原市・長南町区間は、既に長南町側より着工し、更なる用地取得が図られており、圏央道茂原・木更津間の進捗に合わせ、事業が着実に進展している。

については、残る茂原市・一宮町区間約4kmについても、早期に「整備区間」としての指定と全線開通に向けて、さらなる事業の推進を強く要望する。

### 15 国道128号の交差点改良整備について

(夷隅郡町村議会議長会)

国道128号は房総半島にとって夏季観光の主要道路として活躍するだけ

でなく、住民にとっては生活道路としても非常に重要な役割を担っている。

しかしながら便利である反面、夏季観光シーズンには慢性的な交通渋滞を引き起こし、事故も少なくない状況にある。

このことは、朝夕の登下校の児童や住民にとって切実な問題であり、町にとっても重要な案件である。

本町における国道128号の交差点改良による右折レーンの整備は、歩行者の安全確保、夏季観光シーズンの交通渋滞の緩和、利便性の向上に着実に繋がるものとする。

については、御宿町を縦断する国道128号の交差点における主要町道への右折レーン整備を実施するよう要望する。